

安全で快適な都市基盤の整備

●走行キロと乗車人員の推移

(単位：キロ、人)

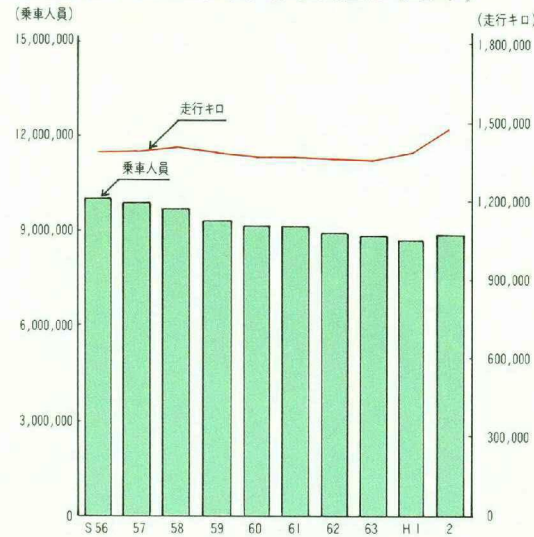
項目	年度	S 56	S 57	S 58	S 59	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2
電 車	走行キロ	1,379,021	1,381,209	1,399,557	1,379,989	1,363,836	1,363,687	1,358,832	1,354,844	1,385,983	1,474,418
	乗車人員	10,068,171	9,925,518	9,753,677	9,369,969	9,166,859	9,243,165	9,060,108	8,984,717	8,809,003	9,002,804
バ ス	走行キロ	6,283,135	6,317,359	6,372,478	6,725,481	6,123,933	6,194,495	6,779,574	6,833,721	6,831,343	6,822,269
	乗車人員	27,124,500	26,001,128	24,623,994	23,286,829	21,817,126	21,240,577	20,338,253	19,930,009	19,178,464	19,010,874

市営交通は、電車が正13年8月、路線バスが昭和2年11月の創業で、現在の車両数は電車41両、バス190両で一日平均8万人を越える乗客を運び、市営交通機関としての重要な役割を果たしています。

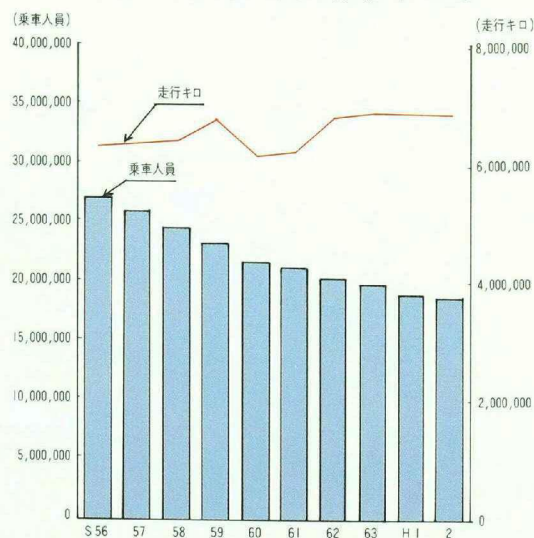
しかし、近年の道路交通の混雑と、自家用車・二輪車など交通手段の多様化に伴い、公共交通をとりまく環境は依然厳しいものがあります。

このような状況に対応して、軌道敷内への他車乗入禁止、新型電車・新都市型バスの導入、都市景観にマッチした電停の整備、停留所上屋やソーラー式バス停標識の設置、利用客のニーズにあったダイヤの見直し等一連のサービス改善を図り利用客回復への努力を続けています。

●走行キロと乗車人員の推移(電車)



●走行キロと乗車人員の推移(バス)



市電・市バス

HUMAN CITY KUMAMOTO



新しくなった船場橋電停

いきいきとした
市民福祉都市を
目指して



本市は、すべての市民が、お互いの温かいおもいやりの中で、健康で生きがいにあふれた暮らしを営む社会を築く。また、市民一人ひとりが自立し、各人の能力が自由に発揮され、個性と創造性あふれる多彩な人材が育つ都市を目指す。

HUMAN CITY KUMAMOTO



青葉スポーツ大会

高齢者福祉

HUMAN CITY KUMAMOTO

●位置図

- 老人デイサービスセンター
- 在宅介護支援センター



高齢化が進行するにつれ、食事や入浴など毎日の生活に支障があるような、いわゆる「虚弱老人」や「ねたきり老人」の方が増えています。熊本市ではこれらの在宅のお年寄りや家族の生活を支援するために、ホームヘルパーの派遣、デイサービスセンターの利用、ショートステイの利用、日常生活用具の給付等を行っています。また家庭での生活が困難な状況になったときは、老人ホームへの入所の相談をお受けしています。

このように在宅福祉と施設福祉を組み合わせ、お年寄り一人ひとりのニーズに応じたサービスを考えていきます。さら

にいろいろなお相談は近くの在宅介護支援センターを利用できるようになっています。

いよいよ平成4年度には、「長寿の里」(仮称)デイサービスセンターを開設し、より一層いきとどいたサービスを提供します。

これから要援護老人対策を拡充していくとともに、各種講座の開催、スポーツ大会、老人クラブ活動助成、老人福祉センター、老人憩いの家の整備など健康づくり、生きがいづくり事業にも一層力を入れています。

デイサービスセンターでのリハビリ体操



心身障害者福祉

心身障害者が、希望に満ちた社会生活を営むため、福祉サービスの充実強化を図るとともに、在宅福祉サービスの新しい展開に努めています。平成2年9月に開設した精神薄弱者施設「平成学園」は、定員60名の通所施設のみでなく、在宅生活を営むと同時に施設における資源を併せて活用できるような短期宿泊訓練棟を設置しています。

また、平成3年6月には、平成学園内においてふれあいと交流をはかるために、「ふれあい棟」を開設しました。

心身障害者福祉

HUMAN CITY KUMAMOTO

今後、21世紀を展望した「いきいきとした市民福祉都市」の実現に向けて、「障害者福祉長期計画」に基づき事業を進めていきます。

身体障害者福祉

1. 在宅福祉サービス

- (1) 障害者の日常生活援助のために、補装具、日常生活用具給付等事業を実施するとともに、ホームヘルパーの派遣、入浴サービス事業等を一層拡充しています。
- (2) 障害者の社会参加を促進するために、心身障害者福祉タクシー事業及び特別回数券の交付事業のほか、盲



機能訓練をかねた機おり風景

人ガイドヘルパー派遣、手話奉仕員派遣、自動車運転免許取得助成等の各事業を行うとともに、福祉センター「希望荘」において、障害者デイサービス事業を行っています。今後、機能回復訓練等を実施し、一層の機能拡充に努めるところであります。

(3) 障害者が社会的に自立するための活動を支援するために、小規模作業所に助成を行い、就労等の各種相談については、「希望荘」において専門的指導を行っています。

(4) その他障害者住宅整備資金貸付事業、特別障害者手当等の給付、更生医療給付の事業等を実施しています。

2. 施設福祉サービス

社会的更生を図るために、さまざまな指導・訓練が必要である障害者に対しては、身体障害者更生援護施設等への措置を行っています。

精神薄弱者福祉

精神薄弱児(者)の多様なニーズに対応するため福祉相談室を設置し、精神薄弱児(者)の検診および生活指導等を行

っています。

在宅障害者に対する福祉サービスは、ホームヘルパーの派遣、特別障害者手当等の給付、特別児童扶養手当の支給、重度心身障害児(者)の医療費助成のほか、心身障害者福祉タクシー事業、特別回数券の交付、優待証の交付等を行っています。

精神薄弱者が在宅での生活を基本としながら専門的訓練等をうけることができるように、精神薄弱者通所更生施設「はなぞの学苑」及び「平成学園」を設置し、生活指導・訓練体制を一層強化するとともに、「平成学園」では、短期的に保護または訓練等が必要な在宅障害者に対して、短期宿泊訓練棟を併設し、在宅生活がより可能となる事業を実施しています。

さらに、平成3年度から4年度にかけて、重点的に作業指導・訓練を実施するための作業棟を設置するものであります。

また、その他の精神薄弱者援護施設への措置を行うことにより、精神薄弱者の社会的更生を図っています。

その他障害者住宅整備資金貸付事業、福祉センター「希望荘」の運営、心身障害者体育大会等を実施しています。

地域福祉の推進

住み慣れた家庭や地域において、家族や近隣の人々とのふれあいの中で暮らせる社会の実現は誰もが願うところです。

高齢者や障害を持つ人などのうち援助を必要とする方々も、家庭にあって地域社会の一員として暮らしていけるよう、周囲の組織や人々の地域連帯感に根ざした取り組みを積極的に支援するなど地域福祉の増進に努めています。

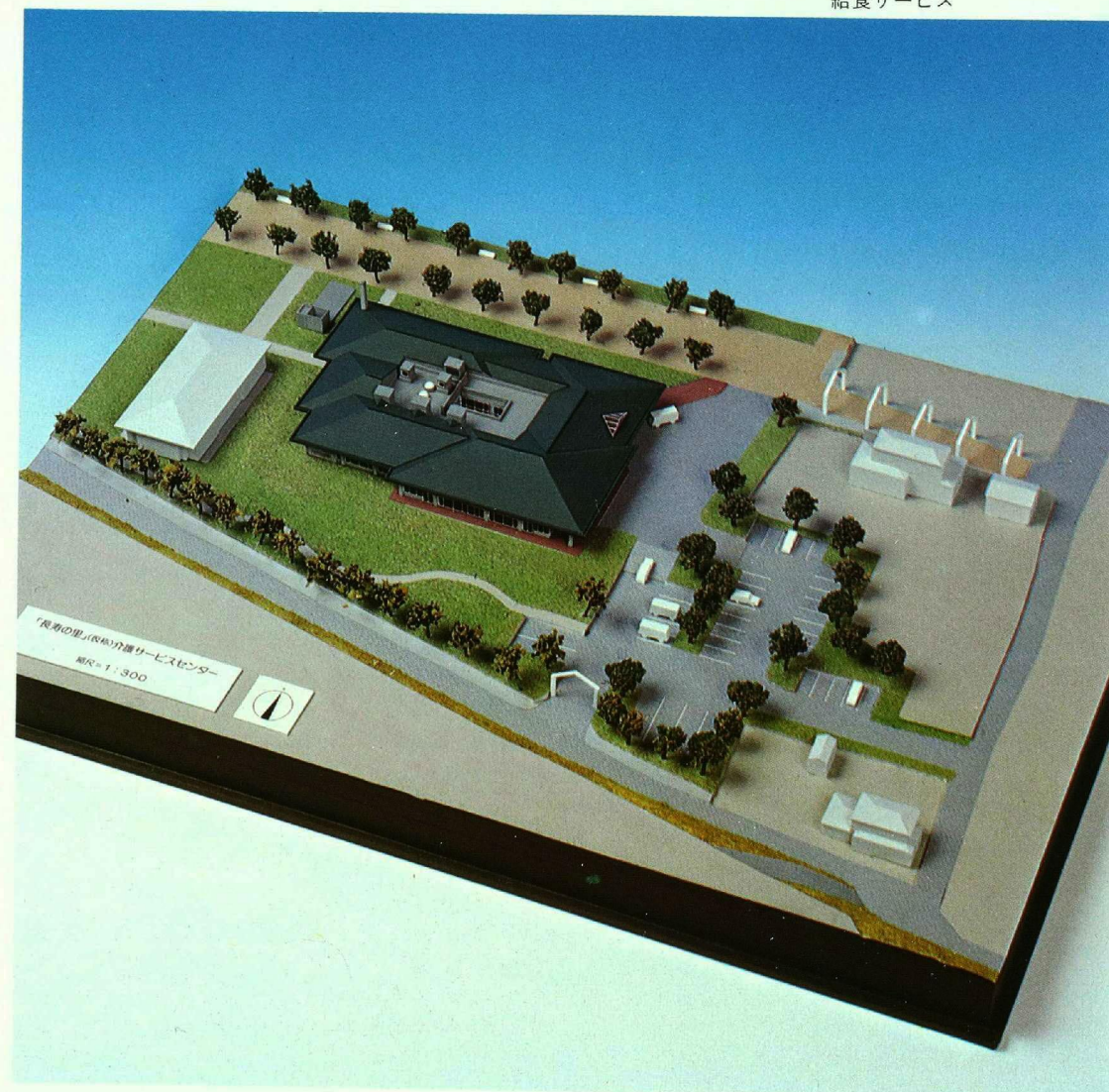
高齢者、障害者にやさしいまちづくり

高齢者や障害者の人が、身近な公共施設を安心して、気軽に利用できるよう、公共建築物等の改良を進めています。

合、支え合いの精神に基づくボランティア活動の顕彰、啓発、組織づくり、支援などを進めています。その中で、ひとり暮らし老人等の家庭に心のこもった手作り食事を届ける、いわゆる「ふれあいランチ」事業を実施している地域が広がっています。



給食サービス



「長寿の里」完成模型

地域福祉

HUMAN CITY KUMAMOTO

熊本市福祉公社ヒューマンライフ

増大する在宅福祉ニーズに対応するため、市民の参加と協力を得て、家事や介護などのホームヘルプサービスを中心に、ナイトヘルプ、食事調理サービスなどいろいろなサービスを提供します。

地域福祉コミュニティセンター

地域住民主体の福祉活動やコミュニティ活動の振興を支援するため、地域福祉活動や会議、集会、学習等多目的に使用できる施設として整備しています。昨年度にひきつづき、本年度も設置することとしています。

社会福祉協議会活動の充実

社会福祉協議会では、地域住民の助け

129ヶ所の保育所があります。ここでは、集団生活、遊びなどを通して、心身共に健やかな子どもに育つよう保育内容の充実、向上に努めています。このほか、障害児保育、延長保育、乳児保育などにも力を入れています。また、一時的保育事業も行っています。

母子寮

母子家庭の保護と経済自立のために、2ヶ所の施設がありますが、ここでは家庭環境をよくし、子供たちの健やかな成長のための指導援助を行っています。

助産施設

経済的理由で入院出産の困難な妊産婦のために、軽い負担で利用できる熊本産院があります。この産院では、母親とその子供の健康と安全管理に努めています。

児童館

市内に9ヶ所の児童館があります。ここでは、集団で遊ぶ機会が少なくなった子どもたちのために遊び場を設け、遊びの中から集団生活のルールや楽しさを教えています。

母子福祉

母子及び寡婦福祉法の理念に基づき、母子家庭及び寡婦の生活の安定・向上及び福祉の増進を図ることを目的として、児童扶養手当の支給、母子家庭に対する医療費の助成などの施策を実施しています。

母子福祉センター

母子家庭や寡婦の皆さんの明るい未来と希望を育むため、各種の相談、技術の習得講座、教養講座、母と子の絆をより強くするための自主事業等を積極的に展開し、思いやりあふれる地域社会づくりをめざして、母子福祉の一段の向上に全力を挙げています。



親子料理教室

児童福祉

21世紀を担うすべての児童が明るく健やかに成長することを願い、児童福祉の充実、向上に努めています。

保育所

仕事・出産・病気等で子どもの日々の保育が十分にできない保護者のために、

児童・母子福祉

HUMAN CITY KUMAMOTO



「体験学習」みかん狩り



生活保護

生活保護制度は、生活困窮者に最低限度の生活を保障するだけでなく、併せて自立の支援をすることを主な目的としています。

平成2年度の生活保護世帯の状況は、受給世帯が5,552世帯、人員が8,782人となっております。昨年度より減少しています。

受給世帯の状況では、高齢者が2,470世帯、傷病障害者が2,144世帯、母子が523世帯となっており、高齢者世帯は毎年増えつづけています。また扶助の種類

傷病障害世帯の占める割合が高くなっています。

近年、社会情勢の変化が市民生活に反映して、さまざまな問題が生じていますが、福祉事務所では、保護受給者の方がたの問題について、原因や環境等を調査し、積極的且つ適切な援助に全力をあげるよう努めています。

国民年金

日本は世界に例のない速さで高齢化社会を迎えています。このため私達の老後の生活を保障する公的年金は、たいへん重要な役割を担っています。

国民年金制度は、昭和34年の発足以来物価スライド制の導入など、制度の改善や充実を図りつつ、今日の制度へと発展してきました。特に昭和61年には国民年金、厚生年金、共済年金に共通な基礎年金制度が導入され、公平で長期的な安定を目指す制度へと大きく変わりました。

熊本市の平成2年度の年金受給者は、55,745人、年金受給総額は、年間約212億円で、老齢給付の割合がもっとも高くつづいて障害、遺族給付の順となっています。

市では豊かな市民生活、特に老後生活を保障するための基盤となる年金権をすべての市民が確保できるよう、幅広い広報活動を行うほか、職員、国民年金委員、

国民年金推進員による戸別訪問等も実施し、制度の普及と保険料収納の強化に努めています。

国民健康保険

地域の医療保険として、昭和34年に発足した国民健康保険は、長年に亘り市民の健康保持と増進に大きな役割を果たしてきました。

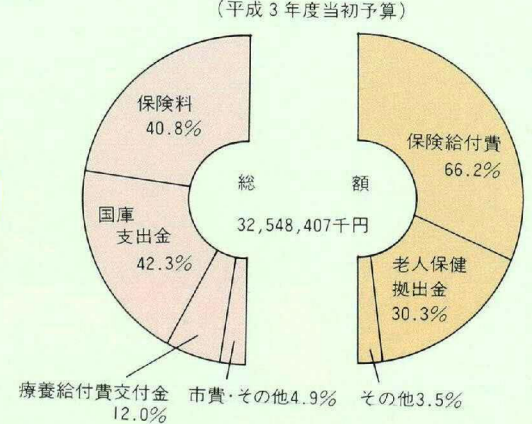
現在の加入者は、人口の約31%にあたる193,053人(平成3年3月末)で、その多くは、農業・自営業・年金受給者の方がたです。しかしながら近年の高齢化の進展、医療費の増高等により国保財政は厳しい状況にあります。

この状況を乗り切るために、保険料収納率向上対策や医療費の適正化を進める一方、保健・医療・福祉の各分野と連携を取りながら総合的な国民健康保険事業の運営を図る努力をしています。

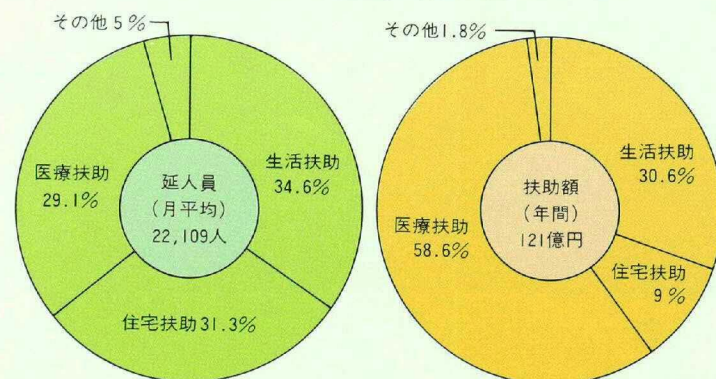
●年金受給者の種類

(平成2年度)					
福祉年金	老 齢	6,066人	10.9%	障 害	4,217人
	18.4%				7.6%
拠出制年金	老 齢	30,909人	55.4%	障 害	1,736人
	通算老齢	11,466人	20.6%		3.1%
	81.6%				2.4%
	そ の 他	1,351人	2.4%		
合 計		55,745人	100.0%		

●国民健康保険会計



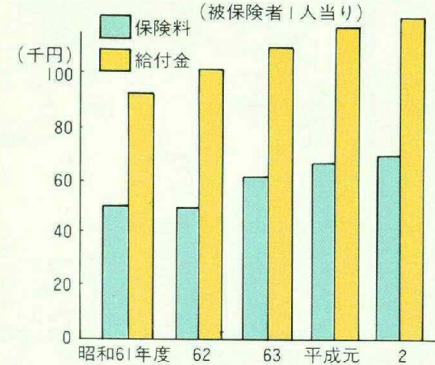
●生活保護の状況 (平成2年度)



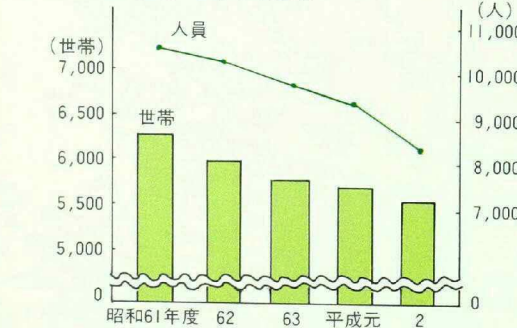
社会保障

HUMAN CITY KUMAMOTO

●国民健康保険の保険料と給付金推移



●生活保護世帯・人員の推移



市民病院

保健医療

HUMAN CITY KUMAMOTO

●基本健康診査、各種がん検診受診者数 (平成2年度実績)



各種検診は40歳以上の市民を対象としています。ただし、子宮がん及び乳がん検診は30歳以上の女性を対象としています。



基本健康診査

保健

健康な生活を送ることは、市民の願いであり、健全な都市づくりの根底を成すものです。

社会の高齢化が、急速に進行する中で、市民の保健、医療に対する様々な要望は高まっています。このような状況の中で、すべての市民が健康で生きがいに満ちた暮らしを営む社会を築くため、昭和54年に「健康都市宣言」を行い、昭和61年には「市民健康の日」を10月1日と定め、市民と一体となった健康づくりを進めています。

また、生涯を通じた自主的な健康づくりを支援する拠点として、2保健所ほか、3保健センターを中心に、各種健康診査、健康教育、健康相談を実施するなど、地域と密着した、きめ細やかな保健活動を行っています。

平成3年度は、老人保健法に基づく

「がん検診」の無料化や、新たに肝臓がん検診や、在宅で寝たきりの方の歯科検診も始めるなど、保健サービスの充実を図っています。

市民病院

熊本市市民病院は、診療科23科、病床数580床(一般床540床、伝染病40床)を有する地域医療の中核的な総合病院として、年間の入院患者数約20万人・外来患者数約30万人を数え、一般医療のほか高度・特殊医療を担当しながら自治体病院としての役割を果たしています。

特に新生児医療については、新生児医療センター80床(内NICU20床)を設け、全県下を網羅し、しかも24時間体制で活動しています。

また、伝染病隔離病舎は県下38市町村をカバーしています。

さらに平成3年度からは、ガン治療の推進を図るため、高度医療機器の整備として、県下唯一のハイパーサーミア(電磁波温熱療法装置)を始めMRI(核磁気共鳴イメージング装置)を導入しました。

救急医療については、熊本中央医療圏の2次救急医療機関として休日・夜間の病院群輪番制をとっています。

また、患者の皆さんのニーズに対応するため、アメニティー対策として外来のカーペット張り・中庭の整備等を行うと共に、給食部門では適温給食とセレクトメニューの提供も軌道に乗り、患者さんから喜ばれています。

今後は、待ち時間の短縮・駐車場の確保をはじめ、高度医療の推進・ガン診療の充実・小児医療の充実・難病対策を基本に各部門の一層の充実を図ることにしています。

スポーツ・レクリエーション

体育・スポーツは、健全な心身の発達を促し、人間性を豊かにするとともに、健康で文化的な生活をおくるための営みであり、活力ある都市づくりを進めるうえで極めて重要な役割を果たしています。本市では「21世紀へ向けての明るく豊かな健康文化都市づくり」を目指し、体育・スポーツを、生涯を通した健康文化活動としてとらえ、その実現を図るための総合的な施策の推進に努めています。

スポーツ施設等の整備拡充

市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、公園機能を備えた浜線健康パーク、南部総合スポーツセンターをはじめ、野球場、武道場、庭球場、体育館並びに新装された水前寺競技場など多くのスポーツ施設があります。また、現在も西部地区に健康文化施設を建設中です。さらに、今後市民が日常生活の中で、いつでも気軽に利用できるような健康文化施設の整備拡充と効果的利用の促進に努めています。

スポーツ活動の振興

市民総参加として定着している市民体育祭など各種行事を尚一層推進するとともに、ミニバレーボール大会など地域に根ざしたスポーツ文化活動の促進、高齢者スポーツの普及振興など市民総スポーツ活動の推進に努めていきます。このほか社会体育組織の充実や指導者の育成・確保にも力を注いでいます。

健康文化

HUMAN CITY KUMAMOTO



南部総合スポーツセンター



ゆとりある勤労者生活を応援します

本市の雇用福祉対策は、人材の確保・定着、勤労者の技能・技術の向上、勤労者の福利厚生の実感を主たる事業として、勤労者の一人一人が豊かな勤労者生活を実感できるような職場づくりのお手伝いをしています。

〔人材の確保・定着〕

若年労働者を確保するため、職業安定機関との連携を図り、熊本雇用対策協議会を組織し、熊本市産業開発求人对策協議会等民間団体とともに人材の確保に努めています。

雇用福祉

HUMAN CITY KUMAMOTO

職業訓練センターでのパソコン教室



ために各種の事業を行っています。また、熊本県勤労者信用基金協会に出捐し、勤労者の信用力を補完し、融資相談に応じ、生活維持の向上安定の支援を行っています。さらに、退職金制度を普及するため、中小企業退職金共済制度掛金の助成を行っています。

中小企業のための
ふれあうきょうさい
熊本市中小企業勤労者福祉共済
あなたの会社の
福祉厚生を
熊本市があと押しします。

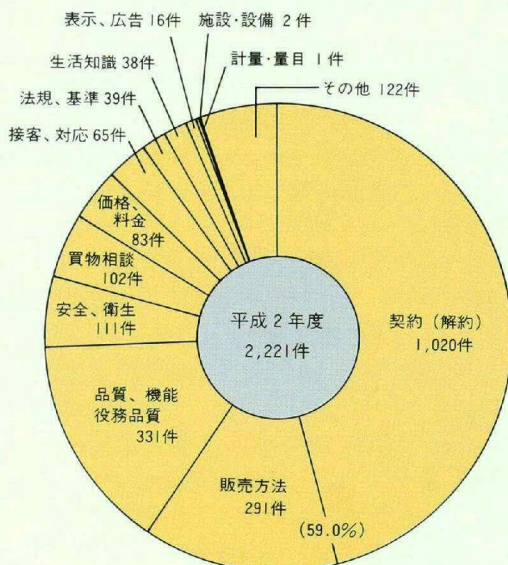
この共済に加入されると、わずかな掛金（1人1月300円）で…従業員の方々に…
福利 自分の時間を積極的に活用して
それぞれの季節…ツア―旅行
に安い費用で参加できます
職場対抗…スポーツ大会
で汗を流して親睦を
盛りだくさんの…パーティー
で心に残る思い出を
今の世の中…文化教養講座
を軽い気持ちで
夏には…海・山の家が利用できます
いろんな…割引があります
いろんな…補助もあります

給付 お祝い、お見舞いとして
満20歳に達したとき…成人祝金
結婚したとき…結婚祝金
出産したとき…出産祝金
子供さんが小学校に入学したとき…入学祝金
子供さんが中学校を卒業したとき…卒業祝金
結婚式を迎えたとき…結婚25年祝金
病気やケガで30日以上欠勤したとき…傷病見舞金
共済加入期間が5年を超えたとき…永年褒賞金
共済加入期間が10年を超えたとき…永年褒賞金
本人が死亡したとき…死亡弔慰金
配偶者が死亡したとき…死亡弔慰金
親等血族が死亡したとき…死亡弔慰金

貸付 不時の出費が必要ときに

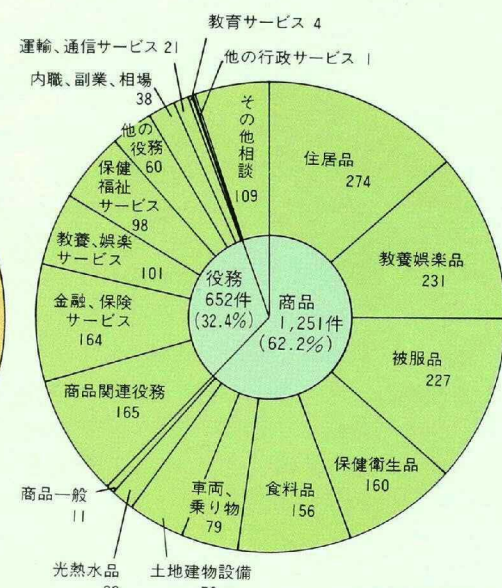
豊かで明るい長寿社会の創造

●内容別相談件数



※1件あたりの相談内容が重複しているため、2,221件となった。

●商品別相談件数



私たちを取り巻く経済社会の変化はめざましく、多くの物やサービスで豊かになりました。日々に新しい商品が出回り、果たしてどの商品がより安全なのか、品質がより優れているか、価格は適正かなどなど、見分けることが難しくなってきました。また商品が私たちの手に渡るまでの仕組みも大へん複雑になっています。そのうえテレビ、新聞雑誌などによる商品の広告宣伝も私たちへ大きな影響を与えています。

このような状況の中では、消費者の利益が損なわれたり、時には深刻な被害をもたらしたりすることもあります。そこ

女性のライフスタイルと意識は、産業構造や就業形態の変化、平均寿命の伸長、出生率の低下、余暇時間の増大などにより大きく変わり、今や女性は様々な形で社会に参加・参画し、生き方が多様化しています。また、それに伴い男性の生き方も再考を迫られています。

21世紀を目前にし、市では男女が共に社会のあらゆる分野に参加・参画し、平等な立場で個性と能力を発揮し共に支え合う、いわゆる『男女共同参画社会』の実現をめざして「くまもと市女性プラン」を策定し、幅広い分野にわたっている女性に関する施策を総合的・計画的に推進

しています。

また、女性自身の意欲と能力を高めるため、自主グループ登録制度を設置し、自主的な女性グループの交流と連携の輪を広げて、グループ活動を支援しています。

さらに、男女平等や女性問題に関する啓発事業として、女性フォーラム等の開催や地域に根ざした啓発活動、啓発情報誌「はあもにい」の発行などにも取り組んでいます。

熊本市総合婦人会館・カルチャーセンター

男性と女性が共に自立し、協力しあい

ながら、いきいきと暮らせる社会づくりを目指し、平成2年4月に総合婦人会館・カルチャーセンターがオープンしました。

この会館は、二つの機能を持った施設です。一つは、女性の社会参加の促進のための拠点施設として、もう一つは、市民文化振興の拠点施設としての機能を併せ持っています。

会館では、女性問題に係る具体的事業（情報提供事業、女性問題啓発事業、女性の自己開発事業、心の健康事業）の展開と、また地域文化発展のための様々な事業（文化交流事業、文化支援事業、文化活動事業）を行っています。

消費者行政

HUMAN CITY KUMAMOTO

で我が国では昭和43年に「消費者保護基本法」が定められました。

本市でも自立した消費者をめぐして、くらしに役立つ講座「消費者セミナー」やご希望の地区への出前講座など消費生活に関する情報提供を行っています。また、消費者センターを設置し、消費生活相談や消費者団体の育成など消費者行政の推進に積極的に取り組んでいます。

最近の消費生活相談

消費者センターに寄せられた平成2年度消費生活相談は2,012件でした。



消費者セミナーにおける着色料検出テスト風景



消費生活相談風景

男女共同参画社会

HUMAN CITY KUMAMOTO



おしゃべりサロン



女性フォーラムの開催に向けての準備作業

今回の教育課程改善の視点である「個性重視」「生涯学習体系への移行」「変化への対応」を基盤にした教育経営と都市像「ヒューマンシティ・くまもと」の実現をめざして、愛情と信頼に基づく教育を推進しています。

心豊かな人づくり

徳・知・体の調和ある人間形成のために道徳教育や基礎学力の充実、生徒指導の徹底、さらに環境教育、郷土教育、福祉教育などの推進を図っています。

また、同和教育は、すべての児童・生徒に人権尊重の精神を認識させ、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくしてい

く意欲と実践力を育成するため、全教育活動を通して積極的に推進しています。

進展する社会への対応

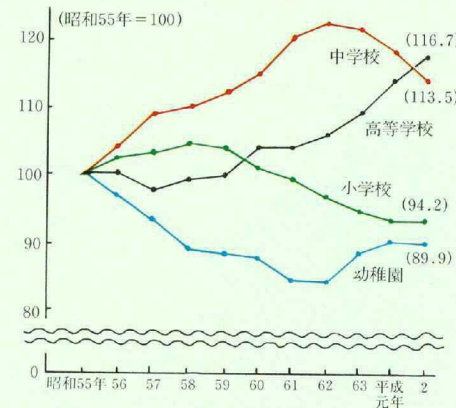
国際化に対応できる教育の実現のために、国際理解教育実践校の委嘱や、アメリカ、イギリス、カナダから6人の英語の先生を招いて、生きた英語学習などを進めています。

健康づくり

基礎体力の養成とともに、心の健康を大切にする健康教育研究校の委嘱、健康推進学校の育成や部活動の適正化など、心身ともに健康な生活習慣の育成を図り、生涯にわたり健康で充実した生活を送ることができるよう健康教育を推進しています。

指導者研修

●在学者の推移（幼・小・中・高）



千葉城町にある教育センターでは、学校教育並びに社会教育に関する教育課題の解決に必要な調査、研究をはじめ、教育関係者の研修、各種教育相談など指導力向上を図るための場と機会を積極的に提供し、その活用を図っています。

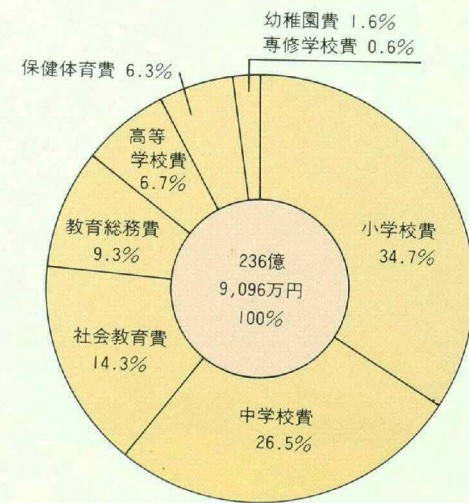


パソコンを使った授業風景（頌台小）

学校教育

HUMAN CITY KUMAMOTO

●平成3年度教育費（歳出当初予算）



託麻郡4町合併記念式

社会教育施設

社会教育

HUMAN CITY KUMAMOTO

生涯教育基本調査委員会の設置

本格的な生涯学習社会の到来の中で、これまでの「生涯学習のまちづくり」事業の推進状況をふまえ、なお一層の学習基盤整備と学習支援体制の充実促進など、生涯教育の総合的、効果的な推進を図るため、平成3年10月熊本市教育委員会に熊本市生涯教育基本調査委員会を設置しました。

この委員会は、生涯教育推進本部等の体制づくり、(仮称)生涯教育センターの建設、生涯教育関係施設の整備の3点の諮問について調査研究を行い、平成4年8月頃までに、答申する予定になっています。

公民館

専用施設の中央公民館と各地域に複合施設として、西部、南部、東部、龍田、託麻、幸田、清水、秋津、大江、花園、北部、鮑田、五福公民館の合わせて14の公民館があり、また北部公民館に北部東、西里の2つの分館があります。

このほか、市民の身近な生涯学習の場である地域公民館（公民館類似施設）が391館あり、それぞれ地域の特色を生かした様々な活動を展開しています。

図書館

図書館は、50万冊余の図書資料の貸出のほか、図書展、本の読み聞かせや紙芝居、読書啓発の講演会、視聴覚ライブラリーの市民映画の会、子供映画の会等の催しを行っています。

また、移動図書館、分館機能を有する9ヵ所の公民館図書室と共に形成する図書サービスネットワークの中核施設として多数の市民が利用しています。

なお、多様化した市民の読書需要に応え、21世紀を展望した生涯学習の基幹施設として、さらに、旧鮑託郡四町との合併による新熊本市に相応しい新図書館の建設についても、基本構想、基本計画を策定中です。

博物館

熊本城三の丸地区にある博物館は、総数約1万点の自然・人文・理工科学関係資料を展示のほか、最新のプラネタリウムを併設した県内唯一の総合博物館です。また、資料収集や調査を行うほか、「星をみる会」等各種学習講座の開設、特別展示会を開催するなど総合博物館として多くの人に利用されています。

平成4年度は、国際宇宙年とプラネタリウム新機種導入を記念し、宇宙展を開催することになっています。

人権啓発

私たちのまわりには、部落差別をはじめ、いじめや体罰、女性や障害者問題、国際化に伴う外国人との問題など、一日も早く解決しなければならない人権問題が存在しています。

特に、部落差別は、日本社会の歴史的発展過程の中で作り出された、いわれない不当な差別であり、結婚や就職ができない等、基本的人権にかかわる問題であります。

熊本市では、これらの問題解決は行政の責務であるとの認識のもとに、市民の皆さんが、同和問題をはじめとするあらゆる差別を正しく認識し、自分の問題として受け止めるよう、講演会・研修会の開催、啓発資料の作成、市政だよりによる啓発など、市民生活のあらゆる場で教育・啓発に力を入れていくことにしています。

「金峰山少年自然の家」、阿蘇大観峰の麓にある「青少年野外活動センター」鳥崎町にある「ユースホステル」、「総合体育館・青年会館」を拠点として、青少年の健全育成を図り、青少年指導者技術講座、野外活動指導者講習会などを開催しリーダー養成を行うとともに、青少年団体及び青少年育成団体の活性化にも努めています。

また、子どもが伸び伸びと遊び学べる「子ども文化施設」の建設にも取り組めます。

そのほか、児童育成クラブの開設、青少年指導センターの充実、中・南九州各市

青少年の健全育成

HUMAN CITY KUMAMOTO

の中学生訪問団の派遣、サンアントニオ市の小学生スポーツ交流団の派遣、桂林市への高校生友好訪問団の派遣などにも力を入れています。

市制100周年記念人づくり基金制度

熊本市は、平成元年に市制施行100周年を迎えましたが、その際、記念事業の推進資金として、市民各層から多額の浄財が寄せられました。

市では、高齢化や国際化、情報化等変革の時代の中で、熊本市をさらに飛躍、発展させるためには、21世紀の各分野において指導的役割を果たすべき、創造性

豊かな人材を育成することを目的として、平成元年4月1日この浄財とふるさと創生資金を基金とする、熊本市制100周年記念人づくり基金制度を創設いたしました。

人づくり基金制度に基づき、市では

1. 環境の保全と創造（生活環境・自然環境・文化環境）に貢献する人
2. 国際交流に積極的に貢献する人
3. 社会福祉に積極的に貢献する人
4. 伝承文化の継承に貢献する人
5. それぞれの分野で、独創的な業績、又は活動が期待される人

を対象として、毎年2回（前期2月・後期8月）募集を行い、研修・研究活動への援助等を実施しています。

初年度の平成3年度には、前期、後期



人づくり基金交付式

合わせて68件の応募があり「人づくり基金選定委員会」の審査の結果、31件に対し援助金が交付されました。

創造的な人づくり

HUMAN CITY KUMAMOTO



人づくり基金による伝統文化の継承